



< 第57号 >

東杏印刷は医療現場を支える皆様・患者様にとっての快適な医療空間づくりをお手伝いします

発行所 TOKYO PRINTING CO.,LTD. 東杏印刷株式会社 〒178-0063 東京都練馬区東大泉2-11-4 TEL 03-3923-1101(代) FAX 03-3923-1109

あんずだより編集部 http://www.tokyop.co.jp

スマートフォン専用



あんずだよりのバックナンバーがご覧いただけます

Facebookで検索

Facebook QRコード



東杏川柳 今月の一句 元気出る! 妖怪達に神(紙)頼み

あのに「妖怪ウォッチ」が東杏印刷 医療シリーズで登場!

大人気放映中の「妖怪ウォッチ」が東杏印刷医療シリーズにて薬袋・おくすり手帳の販売をスタートいたします。病気のお子様も思わず笑顔になってしまおう、かわいい・かっこいい大人気キャラクターが多数登場する弊社オリジナルデザイナー!他では手に入らない、ここの「妖怪ウォッチ」をご案内させていただきます。

妖怪ウォッチとは?



既にご存知の方も多いと思いますが「妖怪ウォッチ」についてご説明をさせていただきます。 「妖怪ウォッチ」はゲームをはじめ、テレビアニメ、まんが、映画などクロスメディア展開を行っている作品です。テレビアニメは2014年1月8日より

「妖怪ウォッチ」のストーリーは、主人公のこっけく普通の小学5年生の天野ゲータが、ある夏の日に怪しげな方シャガマシンから出てきた白い妖怪の「ウイスパー」と出会うところから始まります。ウイスパーが

【妖怪ウォッチ医療シリーズ】ご紹介

東杏印刷では、通院されているお子さまが少しでも笑顔になるお手伝いをしたい!そのコンセプトにもとづいて、新しいキャラクター製品・患者さまとのコミュニケーションツールの模索をまいりました。そんな中、「妖怪ウォッチ」医療シリーズの製品化が決定いたしました。

今回の企画にあたり「妖怪ウォッチ」のキャラクター数が600体以上を超え、そのキャラクター独自の個性に驚かされました。薬袋・おくすり手帳に登場させるキャラクター選考は今回の企画の中で一番苦労した部分でしたが、選びこたえのあるその多彩さはうれしい悲鳴でした。キャラクター選考する上で一番重視した意見は弊社の妖怪ウォッチファンすなわち、その世代のお子さまとその親御さまの意見はとても参考に

専用リーフレットもご用意しております。是非お問い合わせください。

薬袋&おくすり手帳 ラインナップご紹介

- おくすり手帳4種類: モモタロニャン・ウラシマニャン・キンタロニャンのタロニャントリオを使用したキャラクターが集まった可愛い表紙は男の子も女の子も楽しめる表紙デザインです。
- 薬袋4種類: 人気キャラクター達が「がんばって」の写真付きレターを送って来てくれている様な、ほのほのした感じと背景のキャラクターシルエットがかわいいデザインです。
- おくすり手帳: キャラクターのかっこいいポーズは病気やケガに負けない強い力を与えてくれて一緒に闘ってくれているような表紙デザインです。
- 薬袋: 人気キャラクター達がかわいい笑顔で「元気になって」と応援してくれているような心温まるデザインです。
- おくすり手帳: ポンポンを持ち応援するキャラクター達から元気をもらう事間違いなしのデザインです。
- 薬袋: 精悍な顔で並んでいる人気のキャラクター達が見守ってくれている様な心強い気持ちになるデザインです。

きこえるようにひとりごと

いつもあんずだよりをご覧いただきありがとうございます。まだまだ残暑厳しい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか? さてちょうど1年前の「きこえるようにひとりごと」でも取り上げましたが、防災の日の9月1日に合わせて毎年我が家では防災についていろいろ見直しをしています。

1年前の記事では、避難袋の中身を見直すという内容でした。今年ももちろん見直ししました。その際に賞味期限がもう少しの非常食を食べ、期限切れの薬を処分: 普段使わない物の買い足し、無駄が出てしまっています。何か効果的でよい方法を探していたところたまたまテレビで観た【ローリングストック保管・循環在庫】という防災の非常時の非常食保管方法でした。きつとよくテレビで取り上げられているのでご存知の方も多いことでしょうか!

日常生活において使いながら在庫を循環して非常時には必要な量の在庫があるというとても画期的な方法です。そして必要な非常時の在庫を管理しやすくなるのだそうです。まず我が家では水の在庫の循環管理を始めた

めましました。非常時に必要な水の量は1人1日2リットルだそうです。(注: 諸説あるようですが)非常時ライフラインが確保されるまで、最低3日分の水を貯蓄しておきたいところです。(例: 家族4人の場合) 2ℓの水を1日4本必要×3日分で在庫として12本必要とのことで、常に2箱(1箱6本入)在庫として必要。

半分まで使ったらその分買い足すというだけのもとても簡単な管理方法なので我が家でも気楽に続けられています。

他にもいつも買う量の2倍の缶詰・インスタント食品などを購入し、ストックする。

半分の量を使ったら、使った分と同じ量を購入し、補充する。古いものから順に使っていき、食料を循環させることで、市販の食料で備蓄・賞味期限切れも防ぐことが出来、食べながら防災の貯蓄もできるのです。

まだうまく我が家ではシステム化出来ていませんが、食料を無駄にせずに、いつもの生活の延長で非常時には安心して過ごせるようにしたいです。

皆様もこの機会に防災について考えてはいかがでしょうか?

フェイスブックでもご紹介 ローリングストック保管・循環在庫 第二営業部 営業課 新藤 沙紀

